

**町会なんでもおしゃべりサロン**

**～LINEを活用した町会役員の負担軽減～**

元若葉町会長 花田輝明

町会長歴8年 平成28年4月～令和6年4月

# 基本情報

## ○若葉町会

- 世帯数 226世帯
- 役員10人、区長5人、班長17人
- 毎月役員会議開催(参集範囲は役員、区長)

# 若葉町会 参考資料

## 若葉町会 役員

- ・町会長
- ・副町会長(2人)
- ・会計委員
- ・会計監事(2人)
- ・保健衛生委員
- ・青少年育成委員
- ・厚生委員
- ・防火・防犯委員

- ・1区区長
- ・2区区長
- ・3区区長
- ・4区区長
- ・5区区長

※区長は複数の班の取りまとめを担う

2024年/4月~2025年/3月

## 若葉町会年間行事予定表

回覧の必要はありません。各自保管して毎月確認してください（日程は変わることがあります）

月	日	曜	行事	19:00~		8:00~		10:30~		12:00~		9:00~	
				定例役員会	資源回収	いきいき体操	一人暮らし食事会	雪ボランティア	年27回	名簿対象者のみ			
4月	14	日	総会	11	木	20	土	2・16・30	火	4	木	↓随時変更の可能性あり	
	21	日	一斉清掃					7・21		2			
5月	6	月	集会所大掃除	15	水			4・18		6			
	21	火	健康教室①					2・16・30		4			
6月				15	土	15		6・20		1			
7月	27	土	若葉納涼祭り	15	月			3・17		5			
8月				15	木	17		1・15・29		3			
9月	15	日	一斉清掃	15	日			5・19		7			
	16	月	若葉の集い					3・17		5			
10月			町会親睦旅行	15	月	19		7・21		日			
11月	11	月	健康教室②	15	金	30		4・18					
12月				15	日			4・18					
1月	13	月	健康教室③	12	日		4・18						
2月				16	日								
3月	30	日	決算監査	16	日	22							

※ 7月と10月は班長も全員出席してください。

# 町会運営の改善

・8年前は場当たりの運営だった... ➡ 町会に関わりづらい



・年間行事予定表を作成 ➡ 町会活動の可視化



・班長以上の役員へ年間行事予定表を配付 ➡ 話がはやい



- ・会議を欠席した人への情報共有は？
- ・会議の際、メモを取らない人が多い！！（忘れちゃう）



・会議のレジュメを作成、配付 ➡

- 共通認識を図る
- 置いてきぼりを防ぐ

# 町会行事の開催（例えば、夏祭り）

- ・役割決め、チラシ作成等...様々な準備作業➡打合せ多数！！
- ・打合せの日程決め。

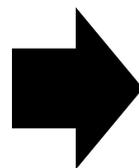
チラシ(案)の確認...  
わざわざ、集まらなくてもいい案件...

電話代が、結構かかる。  
町会長の自己負担  
なのに。

電話をかける時間帯を  
考慮しないと...  
(あの人は朝早いとダメ)



## グループLINEの導入



こんな事にも利用できた！

- 救急車が町内に来たけど、どこに来た？
- 注意して見守るお宅（一人暮らしの高齢者、認知症の方）の情報共有
- 道路の陥没箇所
- お悔み情報
- 小学校入学祝金の対象者

- 
- LINE上で打合せできる。
  - 電話する回数が減った。
  - 郵送（資料や返信用はがきの手配）の手間や郵送料が減った。

# LINEを活用する際の注意・工夫

- 長文はダメ！ある程度のところで「つづく」と区切り、一度発信する。続きは、改めて発信する。最後は「おわり」も必ず記入。
- ルールづくりをする。（午前8時～午後9時までの連絡。朝一か夜寝る前に見てもらう。）
- スマホを所有しているが、LINEやメールを使えない方。（恥ずかしくて、周りに言えない...）
  - ➡妻か子は出来ないか？ ➡娘が出来る ➡娘がグループLINEへ登録 ➡娘から伝えてもらう
- 全く使えない方には、近くの役員が伝えに行く。
- 「既読」（発信した人は、閲覧人数がリアルタイムでわかる）がつかない人を概ね把握しているので、その人に電話で見えるように促す。

## 最後に…

- 全員がグループLINEに登録しなくてもいい。半数でも登録してもらえれば、半分手間が減る。
- 最初は、出来る人達でグループを作って運用。
  - ➡ グループの人数を少しずつ増やしていけばよい。
- 削減できた時間は、別の業務に使える。
  - ➡ その分、充実した事業実施へ。

# 町会なんでもおしゃべりサロン開催記録

## ～Aグループ（概要版）～

開催日時：令和6年7月13日（土）午前10時から正午

開催場所：市役所市民防災館4階 食堂ポム

Aグループ：町会長・役員 5名

### ○コロナ禍の影響

- ・コロナ禍で町会行事を行えなかったため、町会費減額の提案がでている。また、今までの活動制限により、町会役員が本格的に活動できていない。
- ・敬老大会を4年ぶりに実施した。町会が見守っていることを伝える機会であり、続けることが大事。

### ○災害ネットワークについて

- ・市から情報を受けた場合、住民に対してどのように伝達するのか。市からの連絡の受け手は町会長がいいのか。
- ・市から情報を受けた場合、町会としてどう対応するか、協議しておくことが大事。
- ・連絡体制（災害ネットワーク）は、一昨年の水害時に市から情報が届かず困ったため、防災課へその旨伝え要望したもの。
- ・災害時など何か起こった場合には、町会に報告するよう住民へ声掛けしている。市からの情報の受け手は、町会内に伝える体制が整っていれば誰でもいいと思う。

### ○広報誌づくり

- ・自分自身のスキルアップのため町会便りに取り組み頑張っている。

### ○スマホやLINEの活用について

- ・LINEを活用すれば効率的だと理解しているが、特に高齢者は使い方が分からないし、詐欺などの被害に遭わないか不安で始められない。

- 使い方が分からないと言っていない。小学生からタブレットを使っている時代。高齢者がスマホを使えないのは、気持ちの持ちよう。東京の高齢者はスマホを使いこなしていた。

- 市民協働課でモデル町会に対し、スマホ講座をやってみてはどうか。

#### ○グループ LINE の運用について

- グループ LINE 上で質問があった場合の対応について。

#### ○担い手不足について

- 町会行事の参加者増員に向けた工夫と役員成り手への声掛けについて。

#### ○次世代に町会を引き継ぐために

- 会議の開催時間について。

- 70代はまだ就労しているため、役員が出来ない。

- 若い人の意見に耳を傾け、その手法を取り入れ、新しい事に挑戦する姿勢が大事だと思う。

# 町会なんでもおしゃべりサロン開催記録

## ～Bグループ（概要版）～

開催日時：令和6年7月13日（土）午前10時から正午  
開催場所：市役所市民防災館4階 食堂ポム  
Bグループ：町会長・役員 5名

### ○役員間の情報共有の現状

- ・既にLINEを活用して情報共有を行っている。とても楽だ。
- ・スマホを持っていない高齢者が多いので、役員間の情報共有は回覧板で行っている。
- ・今後、負担軽減などを考えるとLINEの活用を検討したい。

### ○若手人材の町会役員への取り込み

- ・消防団員を引き込んでいる事例について。
- ・若い人が町会に加入しない傾向になっている。勧誘の際、モチベーションになるものがないと勧められない。
- ・学生を町会に取り込むのが難しいと感じている。
- ・弘前大学のボランティアセンターを利用した事がきっかけで、行事に弘大生を巻き込んで実施している事例について。
- ・若い人の参加率を上げるため、一町田町会の活動を参考にしている。
- ・各町会の夏祭り等の行事事例について。

### ○町会長の負担について

- ・会議が多すぎる。
- ・現在の業務内容だと町会役員の担い手がいなくなる。

### ○町会加入について

- ・転入者への対応と、反応について。

# 町会なんでもおしゃべりサロン開催記録

## ～Cグループ（概要版）～

開催日時：令和6年7月13日（土）午前10時から正午  
開催場所：市役所市民防災館4階 食堂ポム  
Cグループ：町会長・役員 5名

### ○町会活動でのLINEの活用

- ・高齢者が多いのでLINEやショートメールを使えるのは1～2人。
- ・町会役員は連絡事項があれば、直接訪ねて来る。LINEを当町会で活用するのは無理。
- ・LINEを使える若い人を町会に取り込んでいくことで組織が若返っていったらよい。

### ○若手人材の町会役員への取り込み

- ・町会役員を若い人に切り替えていった過程について。
- ・役員の後任を見つけられない。
- ・当町会は古い町会のため、慣例に従わず若い人を役員へ推薦していいものか、悩むところもある。
- ・総会はいつも同じメンバーが参加。参集を図るための工夫について。
- ・夏祭りに弘前大学のサークルを招いている事例について。
- ・行事に参加した若い人に声をかけて、町会に取り込んでいけばよい。
- ・集会所が無い場合、集まる場所がないのが悩み。現在、隣接する町会の集会所を借りている。

### ○町会での防災活動

- ・防災では、連絡網が一番重要。
- ・災害時は「自助・共助・公助」。各町会でも訓練等行い、防災スキルアップを考えなければ。

- 行政の防災講座等を受講し、町会側は講座実施日に合わせて人集めをする。

○町会の役員構成と子ども会

- 役員の構成と兼務について。
- 町会長の業務だけ大変なイメージがある。
- 子ども会活動について。
- 町内の子どもの情報をどのように把握しているのか。  
→学校や青少年育成委員会などから。
- 当町会の子ども会は、人手不足のため機能していない。